

平成24年度 施策評価表

分野名	第5章 安全で快適なまち	作成日	平成25年8月9日
政策名	第4節 快適な生活環境の整備	部局	建設部
施策名	第6項 総合的な道路・交通体系の整備	部局長	川口昌克

主担当課	土木課	関係課	監理課・まちづくり事業課・地域安全課
------	-----	-----	--------------------

1. 施策の基本方針

施策目的	快適で暮らしやすい街づくりを進めるため、道路機能維持・向上を図り、市民の生活に密着した生活道路を整備し、また、交通ネットワークの充実及び公共交通網の利便性向上を図ることを目的とする。
------	---

2. 施策の現状分析

施策を取り巻く概況	市民ニーズ等				社会環境、国・県の動向等		
	道路の整備については、満足度は低いものの、重要性についての市民意識は高い。市道の改良・修繕・清掃等を計画的に進める。都市計画道路については、北大路線・別所丹波市線・勾田樫本線の3線について重点的な整備を進める。また、公共交通機関の利便性向上のため交通ネットワークの充実を図らなければならない。 天理駅前広場を利用する人々が安心・安全に利用できるように、施設の維持管理及び美化を図る。また、長柄駅利用者及び「山の辺の道」等の観光客にとって、利用しやすい駅前広場、公衆トイレが求められる。	交付金等、国及び県の補助事業を活用した整備を進めているが、厳しい財政事情の中で予算配分に苦慮している。未着手計画道路については、見直し等の方向である。交通総量の増大による慢性的な交通渋滞からダイヤの乱れが生じ、バス利用者が減少し路線の廃止や運行本数の削減が余儀なくされている。高齢化社会を向け、高齢者の公共交通の需要が見込まれる。					
市政アンケート結果	道路網の整備						
満足度スコア	0.7%	33 / 49位	重要度	14.2%	6 / 49位		

指 標 名	達成度(上段:目標 下段:実績)					H26目標	備考(他市状況含む)
	H22	H23	H24	H25	H26目標		
新設・拡幅工事件数	目標	5件	5件	5件	5件	5件	
	実績	5件	5件	5件	5件		
	達成率	100.0 %	%	%	%		
市道改良率	目標	44.0%	44.0%	44.0%	44.0%	44.0%	
	実績	34.5%	34.6%	35.6%			
	達成率	78.4 %	78.6 %	80.9 %			
都市計画道路整備率 (改良済延長/計画延長)	目標				55.1%	55.3%	
	実績	53.4%	54.1%	54.9%			
	達成率	%	%	%			
公共交通機関の整備に満足している市民の割合	目標				84.0%	94.0%	
	実績	58.0%	69.0%	72.0%			
	達成率	%	%	%			
駅前広場利用件数	目標	32件	35件	35件	35件	35件	
	実績	32件	50件	37件			
	達成率	100.0 %	142.8 %	105.7 %			

施策の評価	H24までの施策成果(指標目標)達成度	b	a 非常に高い	b やや高い	c やや低い	d 低い
	H25以降の施策成果が向上する可能性	b	a 十分ある	b ある程度ある	c あまりない	d ない
	成果達成度向上可能性の説明	都市計画道路の整備については、僅かではあるが進捗している。歩道バリアフリー化や道路拡幅等の新設・改良事業も毎年数路線実施している。そのため道路機能は、徐々に向上し一部では渋滞緩和や高齢者・障害者にやさしい道路となってきている。また、路面舗装・清掃等の維持管理、街路樹の剪定等により、安全で美しい道路を維持することは街の景観保全にも繋がっている。道路整備事業に必要な用地買収については地権者の協力が必要であり数年にまたがることが多い。しかしながら、今後も補助金を活用しながら整備を継続することで成果は向上すると考える。 平成21年から運行しているコミュニティバス(いちょう号)と、平成24年から運行を開始したデマンド型乗合タクシー(ぎんなん号)の運行により、公共交通空白地帯の解消とともに、ターミナル駅の天理駅に乗り入れることにより、公共交通網の利便性の向上が図られるようになった。				

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

(単位:千円)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	平成26年度	
	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(予算)	(決算)	(当初予算)	(見込み)	
直接事業費	658,897	810,291	523,189	499,939	770,363	685,602			
内訳	一般財源	547,672	571,520	341,137	279,881	329,475	250,777		
	受益者負担								
	補助金等	111,225	238,771	182,052	220,058	440,888	434,825		
従事者数	正職員	14.30人/年	16.40人/年	16.20人/年	15.45人/年	15.30人/年	15.30人/年		
	臨時・嘱託	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年		
人件費	正職員	109,395	125,460	123,930	118,193	117,045	117,045		
	臨時・嘱託								
退職給与引当金	6,864	7,872	7,776	7,416	7,344	7,344			
トータルコスト	775,156	943,623	654,895	625,548	894,752	809,991			

4. 施策の課題

課題	道路整備要望は多数あるが、すべてに対応することができていない。都市計画道路の整備にあたっては、地権者・関係機関の協力が必要であり、道路築造から供用開始に至るまでかなりの期間と財源が必要となる。 コミュニティバス・デマンド型乗合タクシー運行後、市内には公共交通空白地帯が存在しており、その解決を図る必要がある。また、既存の奈良交通バス路線が乗客減少により慢性的に赤字運行しており、路線撤退の可能性がある。 天理駅前広場は、施設の老朽化が懸念される。開発行為による道路の帰属などにより、管理区域が増加している。
----	---

5. 施策の方向性(課題を解決するための方策)

総合評価	次年度		方針	次年度以降
	1次評価	2次評価		
	A	A	道路機能の維持・向上を図り、事故等を未然に防ぐために事業拡大の必要がある。また、国の補助金を活用し、計画的な都市計画道路の整備を行う。 コミュニティバス(いちょう号)の本格運行とデマンド型乗合タクシーの試行運行開始により、公共交通空白地帯の解消とともに、ターミナル駅の天理駅に乗り入れることにより、公共交通利用者の利便性を高めていく。また、公共交通空白地帯の更なる解決に向け、デマンド型乗合タクシーのエリア拡大に向けた調査を開始する。	

上記担当部局の1・2次評価をもとに市の全体最適を考慮した行政評価委員会による3次評価結果

行政評価委員会	3次評価	方針	総合評価1次評価及び2次評価の次年度以降方針が、施策の方向性として概ね適当であると判断するが、道路整備事業については、コスト面を現状維持とする。
	B		

【次年度の総合評価】A(取組の強化・推進が必要)、B(現行の取組を見直しながら継続的な対応が必要)、C(経営資源配分の見直し・削減が必要)

施策を構成する事業の評価

事務事業名	事務事業名	事務事業名	事務事業名	事務事業名
担当課	担当課	担当課	担当課	担当課
1 コミュニティバス 運行事業 地域安全課	2 デマンド型乗合 タクシー運行事業 地域安全課	3 道路管理事業 監理課	4 天理駅前広場管理 事業 監理課	5 道路橋りょう総務 事業 土木課
6 職員施工による道 路等修繕・維持管理 事業 土木課	7 道路橋りょう維持 管理事業 土木課	8 道路補修資材支給 事業 土木課	9 市道等修繕事業 土木課	10 長柄駅前広場管理 事業 監理課
11 道路新設改良事業 監理課	12 都市計画道路整備 事業 まちづくり事業課	13 道路新設改良事業 土木課		